

特集
土木施設を使いつくす

MESSAGE

リメイク、リモデル、 アップサイクルの楽しさとは

様々な分野で環境問題への取り組みが進む中、DIYの世界でも環境問題に関わる「SDGs」や「サステナブル（持続可能）」が重要なキーワードとなっています。そしてDIYの分野でも画一的な使い捨て文化が時代遅れになり、資源を大切にするという意識が高まり、そのアプローチとして注目されているのが資源の再利用です。不要となった物（資源）を素材に、DIYでリメイクやリモデル、アップサイクル（廃棄物に新たな付加価値を持たせ新しいものに生まれ変わらせること）して環境への負荷を減らしながらその物に新しい価値を与える。これは「自分の価値観に合ったものづくり」や「個性を大切に自分だけの空間づくり」といった今のDIYトレンドにもマッチしています。

子供の成長や家族構成の変化など、生活環境が変わればどうしても不要な物、今の生活に合わない家具などが出てきてしまうもの。それを捨てるのは簡単ですが、処分する前に一度その物に向き合ってみて下さい。そして「何かに使えないだろうか?」と考えてみるのです。もしかした

らDIYで手を加えることで、別の何かに変わるかもしれません。

例えば段ボール。コロナ禍で、どの家庭でも通信販売を利用する機会が増え、きっと梱包材の段ボールがあまっています。そんな段ボールを捨てずにDIYで活用して新たな何かを作ってみてはどうでしょう。やり方は簡単です。まず段ボールをバラバラにして板状にしたものを、波状になった中芯の向きが交互になるように5枚ほど重ねて接着剤で貼り合わせます。そして重しをして一晩ほど置けば、段ボールがDIY素材として利用できる板材となります。それを素材に、好きな形に切り出し組み立てれば子供用のイスや、テーブルなどを作ることができます。素材が段ボールですので加工や組み立ては容易ですし、それ以上リメイクできないほど破損してしまったら、処分することも簡単です。

ほかにも、今、DIYの世界でアップサイクル用の素材として注目されているのが、不要になった木製の電工ドラムや

輸送などに使われる木製パレットです。本来の役割を終えた物がDIY用の素材として注目され、今ではリサイクル品の入手も容易になっています。例えば、そんな電工ドラムをテーブルに、木製パレットをソファにアップサイクルしてオリジナルの家具をDIYする方が増えています。処分されるはずの物が、少し手を加えることで新たな価値を持ち部屋を飾る素敵な家具に生まれ変わるのです。

自宅で不要になった物を素材にDIYで再利用するのもおすすめです。今ある家具に好きなペイントを施しオリジナルの家具に仕立て直したり、お部屋のリフォームで不要になった扉をテーブルにリメイクしてもいい。また、どこのお宅にでもあるカラーボックスも、天板を乗せるだけでカウンターテーブルに早変わりです。もし、DIYをやったけれど工具がない、というならご自宅の近くにあるホームセンターのレンタル工具を利用してみてください。一泊二日500円前後で電動工具を手軽に借りることができるはずです。

ゼロから物を作り出すことはハードルが高いかもしれませんが、もともとある素材を元にリメイク、リモデル、アップサイクルすることは比較的簡単です。手始めに家具にシール状のリメイクシートを貼ってみるだけでもいいでしょう。もしDIYにチャレンジして思い通りの物ができなくても、それは失敗ではありません。次のステップのための第一歩です。修正を繰り返して完成度を高め、続けることで思い通りの物が完成するのです。そして思い描いた物が完成した時には、何物にも代えがたい達成感が得られるはずです。是非、DIYを通してサステナブルな物づくりを楽しんでみてください。

環境問題への取り組みというと堅苦しいですが、DIYなら手軽に、楽しく、前向きに環境問題へアプローチすることができるでしょう。DIYはただ物づくりの楽しさが味わえるだけではなく、物づくりを通じて環境問題にも貢献できる、そんな素晴らしい側面もあるのです。



ダンボールのイスとテーブル



山田 芳照
YAMADA Yoshiteru

プロフィール

1999年、株式会社ダイナシティコーポレーションを設立し、DIY情報サイトDIYCITYを運営している。DIYアドバイザーの資格を取得し、DIY普及活動として2005年から6年間、NHK教育TV「住まい自分流」に講師として出演した。以後、DIYをテーマにしたTV番組の講師及び監修、企画制作を行っている。2013年からはホームセンターに置かれているHow toシートの監修と制作を行い、社員研修やDIYセミナー、DIY教室、体験講座などの企画運営を継続して行っている。

電工ドラムのテーブルと木製パレットのソファ